導入を検討されている方へ

雪国でも、年間を通じて太陽光発電を利用できます

- 太陽光パネルの表面が雪で覆われている間は、発電量が低下します。しかし、年間発電量は冬季の発電量だけで決まるものではありません。
- **国のZEH補助事業における実績データでは、東北6県の住宅でも、太陽光パネル1kW当たり年間おおむね1,000〜1,200kWh程度の発電実績が確認されています。地域によっては、東京都とほぼ同水準です。**
- 太陽電池は、パネル温度が高くなると出力が低下する性質があります。このため、東北の中でも夏季の気温が比較的低い地域では、高温による発電効率の低下が抑えられる場合があります。

導入前に確認すること

販売・施工事業者に年間発電量のシミュレーションを依頼し、積雪の影響、日射量、屋根の方位・傾斜、周辺の影、設備仕様等の前提条件を確認してください。

東北6県における年間発電量

国のZEH補助事業で収集された住宅の実績データ（設備容量1kW当たり）

都道府県	年間発電量	東京都比
青森県	約1,110 kWh/kW	約94%
岩手県	約1,085 kWh/kW	約92%
宮城県	約1,169 kWh/kW	約99%
秋田県	約1,011 kWh/kW	約86%
山形県	約1,089 kWh/kW	約93%
福島県	約1,184 kWh/kW	約101%

東京都とほぼ同水準

詳しい情報

1. **雪国と東京都の年間発電量の比較**

   富山県「太陽光発電のススメ」

2. **雪国の太陽光発電に関する疑問**

   新潟県「太陽光発電 ギモン解決」

3. **豪雪地での設計・施工や設置方法**

   長野県「雪国・住宅太陽光発電ガイドブック」

積雪地域では、建物・屋根の耐荷重、積雪荷重、落雪、雪庇、パネル下部への雪の堆積等を考慮し、地域の積雪条件と建物の状況に応じた設計・施工が必要です。

出典：一般社団法人環境共創イニシアチブ「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス実証事業調査結果（2025年版）」都道府県ごとの太陽光発電量実績データを基に作成。
※国のZEH補助事業の交付を受けた住宅の実績データです。実際の発電量は、設置場所、設備仕様、設置条件及びその年の天候等によって異なります。※東京都比は東京都を100％として算出。